

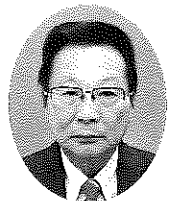
富山善銀

第161号

発行所
公益社団法人
富山県善意銀行
富山市桜橋通り1-18
北日本桜橋ビル5階
電話・FAX(076)431-2239
印刷所
北日本印刷株式会社



【令和3年度 総会】



疫病退散・無病息災
公益社団法人 富山県善意銀行

理事長 河合 隆

大伴家持の越中赴任は天平18年(746)、29歳の時である。それより約10年前、天平7年から9年にかけて疫病の大流行があった。九州で発生した疫病は、瞬く間に全国に広がった。天然痘と言われている。

政権を担っていた藤原四兄弟が相次いで病死した。不比等の息子たちである。当時の日本の総人口のおよそ25%、35%、100万人から150万人が死亡した。凄まじい数字である。

疫病対策の太政官符が出されている。発病したら冷水を飲んでほならない、腹や腰を温めよ、重湯を与えよ、ニラやネギをたくさん食べるとよい、疫病が治るといふ丸薬や散薬は飲まないようになど、きめ細かく指示が記されている。当時の医療関係者の努力が垣間見えるが、治療薬もワクチンもないのだから如何ともし難たい。

疫病をはじめ、地震や飢餓などの異変は為政者の資質によって引き起こされると考えられた時代でもある。聖武天皇の悩みは誰よりも深かった。全国に国分寺、国分尼寺を建立、総本山である東大寺には大仏をつくり、疫病の退散、民衆の平安を祈った。

日本の祭りは、疫病などの悪霊を鎮め、民衆の平安祈願をその起源とするものが多い。平安京は人口集中に加え上下水道は不備で、いつも天然痘やマラリア、インフルエンザ、赤痢などの流行に悩まされてきた。有名な八坂神社の祇園祭も人々の無病息災を祈る代表的な神事である。

医学が格段に進歩した現代、まさかコロナがこれほど長期化、深刻化するとは多くの人にとっては想定外だったと思う。昔ながらの「無病息災」という言葉が妙に重々しく響く。

それにしても「三密」と「不要不急」というのは何と強い言葉だろうか。人と人とのコミュニケーションは断絶し、文化やスポーツは「不要」となった。コロナ以前の格差は一層ひどくなった。廃業やリストラが日常茶飯事になり、生活に困窮する人たちが増え続けている。現代の疫病が一日も早く退散し、平安を取り戻せるよう、善意銀行も頑張っていきたい。

私たちの活動
(1) 親切善行活動
(2) 福祉活動
(3) 啓発活動
(4) 貸し出し活動
(5) 拡充活動

令和3年度

総会を開催しました

総会を6月10日(木)電気ビル光の間で開催しました。出席者は、本人出席21名、委任状出席597名で過半数を超えています。コロナ禍で富山県ではステージ2が発令されていたため、参与さん方の出席を見送っていただく等、参加人数を絞って実施しました。

まず理事長が「コロナ禍の中で、社会の格差がこれまで以上に拡大しました。不要不急の中に社会福祉の活動も入ってしまったことを危惧しています。善銀活動はコロナ禍でも推進していきたい」と挨拶をしました。

その後、事務局より「令和2年度事業報告」「令和2年度決算報告」を提案しました。事業報告では、昨年はコロナのために多くの事業が中止になってしまいましたが、その中でも支援を必要としている人々や団体のための活動を継続することができたと報告しました。決算報告では、コロナのために収入が減少しましたが、事業も減少したため支出が例年に比べて少なくなり、少々黒字決算になってしまったのでアフターコロナになったときに事業を拡大したいと報告しました。

これに対して、石倉監事より業務執行予算執行が適正に行われていたと監査報告があり、決算について承認されました。

本年度は役員改選の年に当たります。総会、その後の理事会で新たに次のように役員

が決まりました。

理事長 河合隆

副理事長 寺林敏 高野二朗 品川祐一郎

理事 林信雄 武内保衛 榎田隆一郎

北岡勝 織田久光 若林恒夫

五十嵐星子 長原好成(以上重任)

室尚志(新任) 杉浦敬美(新任)

監事 清水清信(新任) 本田正則(新任)

退任理事は「堀鼎氏、利波宗雄氏」退任監事は「中林伸男氏、石倉秀一氏」で、理事長が長年のご貢献に感謝の言葉を述べました。

7月19日に元監事の中林伸男様のご逝去なさいました。深く哀悼の意を表し、生前の本行へのご協力を厚く御礼申し上げます。

たくさん温かい寄付が届いています。

5月に昭和2年生まれのTUさんより多額の寄付をいただきました。TUさんは94歳になり、自分の身辺整理を始められ、今後生活していく資金や入院費用等を除いた分から、出せる金額を本行に預託してくださいました。親戚の了解も得て、遺産を県内の恵まれない子供や人々のために使ってほしいと述べられています。自分は、これまでも人に助けられてきたので、人のためになることをしていきたいと預託の理由を挙げておられます。

6月には、善意銀行への寄付を長年続けて

こられたご主人がお亡くなりになられて、その意志を本行に託したいと奥様よりたくさん預託をいただきました。

今回お二人よりいただいた預託は、富山県善意銀行基金に入れさせていただくことにしました。お二人の思いを今後10年に渡って生かしていきたいと思えます。



ネットトヨタ富山様から、社会貢献の一環として13年前より毎年預託金をいただいています。昨年はコロナ禍のため大規模な事業を行うことができなかったため、各店舗でイベントを行われた際の収益や募金、社員の皆さんが休憩時に飲まれるコーヒーの売上、本店に設置してあるUFOキャッチャーの収益などを預託してくださいました。

何人かの経営者の方から、「会社が順調に成長している」「社員の頑張りで収益が上がった」その成果を社会貢献のために活用してほしいと預託してくださいました。

県民の皆様の温かい思い、本当にありがとうございます。

令和2年度 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

私たちの活動 (1)親切善行活動 (2)福祉活動 (3)啓発活動 (4)貸し出し活動 (5)拡充活動

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取手数料	[6,633,328]	[6,794,413]	[△ 161,085]
受取特別会費	3,874,500	3,819,500	55,000
受取補助金等	2,758,828	2,974,913	△ 216,085
受取寄附金	[981,000]	[981,000]	[0]
受取補助金	81,000	81,000	0
受取寄附金	900,000	900,000	0
受取寄附金	[9,537,050]	[11,618,080]	[△ 2,081,030]
受取寄附金	6,362,458	8,643,306	△ 2,280,848
受取寄附金	434,267	517,706	△ 83,439
受取寄附金	2,740,325	2,457,068	283,257
受取寄附金	4	49	[△ 45]
受取寄附金	4	49	△ 45
受取寄附金	[13,075]	[13,075]	[0]
受取寄附金	75	75	0
受取寄附金	13,000	13,000	0
経常収益計	17,164,457	19,406,617	△ 2,242,160
(2) 経常費用			
業務費	[12,892,675]	[16,303,773]	[△ 3,411,098]
給福旅通減	4,482,000	4,448,040	33,960
消耗品	641,084	638,302	2,782
印刷費	0	0	0
手数料	505,936	713,910	△ 207,974
印刷費	26,244	26,244	0
印刷費	26,150	455,939	△ 429,789
印刷費	493,473	602,534	△ 109,061
印刷費	48,977	55,951	△ 6,974
印刷費	957,848	1,110,127	△ 152,279
印刷費	0	80,000	△ 80,000
印刷費	2,534,592	4,518,869	△ 1,984,277
印刷費	2,532,325	2,259,068	273,257
印刷費	0	565,685	△ 565,685
印刷費	341,580	373,500	△ 31,920
印刷費	227,700	224,100	3,600
印刷費	74,766	231,504	△ 156,738
印刷費	[3,178,223]	[3,359,592]	[△ 181,369]
印刷費	513,000	509,227	3,773
印刷費	71,231	70,923	308
印刷費	50,000	57,990	△ 7,990
印刷費	352,263	386,951	△ 34,688
印刷費	2,916	2,916	0
印刷費	536,321	550,528	△ 14,207
印刷費	341,257	347,768	△ 6,511
印刷費	5,442	6,217	△ 775
印刷費	386,091	398,357	△ 12,266
印刷費	442,548	464,373	△ 21,825
印刷費	34,500	34,500	0
印刷費	[128,225]	[153,080]	[△ 24,855]
印刷費	71,770	91,148	△ 19,378
印刷費	35,655	56,031	△ 20,376
印刷費	20,800	5,901	14,899
印刷費	47,360	46,136	1,224
印刷費	37,953	41,500	△ 3,547
印刷費	25,300	24,900	400
印刷費	203,816	264,226	△ 60,410
経常費用計	16,070,898	19,663,365	△ 3,592,467
評価損益等調整前当期経常増減額	1,093,559	△ 256,748	1,350,307
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,093,559	△ 256,748	1,350,307
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	[0]	[0]	[0]
什器備品売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,093,559	△ 256,748	1,350,307
一般正味財産期首残高	7,011,024	7,267,772	△ 256,748
一般正味財産期末残高	8,104,583	7,011,024	1,093,559
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	[981,000]	[981,000]	[0]
受取補助金	900,000	900,000	0
受取補助金	81,000	81,000	0
受取補助金	[2,740,325]	[2,457,068]	[283,257]
受取補助金	2,740,325	2,457,068	283,257
一般正味財産への振替	[△ 3,721,325]	[△ 3,438,068]	[△ 283,257]
一般正味財産への振替	[△ 3,721,325]	[△ 3,438,068]	[△ 283,257]
地方公共団体補助	△ 900,000	△ 900,000	0
地方公共団体補助	△ 81,000	△ 81,000	0
寄附金	△ 2,740,325	△ 2,457,068	△ 283,257
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	8,104,583	7,011,024	1,093,559

令和3年度 収支予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[6,600,000]	[6,600,000]	[0]
正会員受取会費	3,800,000	3,800,000	0
特別会員受取会費	2,800,000	2,800,000	0
受取補助金等	[981,000]	[981,000]	[0]
受取補助金等振替額	981,000	981,000	0
受取寄付金	8,100,000]	[8,100,000]	[0]
受取寄付金	5,700,000	6,200,000	△ 500,000
受取寄付金	400,000	400,000	0
受取寄付金振替額	2,000,000	1,500,000	500,000
雑収益	[13,100]	[13,100]	[0]
受取利息	100	100	0
雑収益	13,000	13,000	0
経常収益計	15,694,100	15,694,100	0
(2) 経常費用			
事業料	[13,512,000]	[13,904,000]	[△ 392,000]
給料	3,573,420	4,576,500	△ 1,003,080
福利厚生費	630,000	630,000	0
旅費	50,000	50,000	0
通信用	730,000	730,000	0
減価償却	27,000	27,000	0
消耗品	110,000	110,000	0
印刷製本	657,000	657,000	0
光熱水	63,000	63,000	0
賃借料	1,211,000	1,157,000	54,000
諸金	120,000	120,000	0
支店	3,620,000	3,540,000	80,000
指賞	2,000,000	1,500,000	500,000
退職	341,580	373,500	△ 31,920
雑	234,000	225,000	9,000
管	145,000	145,000	0
理	[3,668,000]	[3,776,000]	[△ 108,000]
給料	397,047	508,500	△ 111,453
福利厚生費	70,000	70,000	0
旅費	80,000	80,000	0
通信用	405,000	405,000	0
減価償却	3,000	3,000	0
消耗品	50,000	50,000	0
印刷製本	460,000	460,000	0
光熱水	0	0	0
賃借料	573,000	573,000	0
諸金	7,000	7,000	0
支店	444,000	438,000	6,000
指賞	550,000	550,000	0
退職	50,000	50,000	0
雑	[220,000]	[220,000]	[0]
管	100,000	100,000	0
理	60,000	120,000	△ 60,000
議	60,000	0	60,000
新	50,000	50,000	0
賞	37,953	41,500	△ 3,547
退職	26,000	25,000	1,000
雑	245,000	245,000	0
経常費用計	17,180,000	17,680,000	△ 500,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,485,900	△ 1,985,900	500,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,485,900	△ 1,985,900	500,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減	△ 1,485,900	△ 1,985,900	500,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 1,485,900	△ 1,985,900	500,000
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[981,000]	[981,000]	[0]
受取国庫補助金	0	0	0
受取地方公共団体補助金	900,000	900,000	0
受取地方公共団体助成金	81,000	81,000	0
受取寄付金	[2,000,000]	[1,500,000]	[500,000]
受取寄付金	2,000,000	1,500,000	500,000
一般正味財産への振替額	[△ 2,981,000]	[△ 2,481,000]	[△ 500,000]
一般正味財産への振替額	[△ 2,981,000]	[△ 2,481,000]	[△ 500,000]
地方公共団体補助金	△ 900,000	△ 900,000	0
国庫助成金	0	0	0
地方公共団体助成金	△ 81,000	△ 81,000	0
寄付金	△ 2,000,000	△ 1,500,000	△ 500,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 1,485,900	△ 1,985,900	500,000

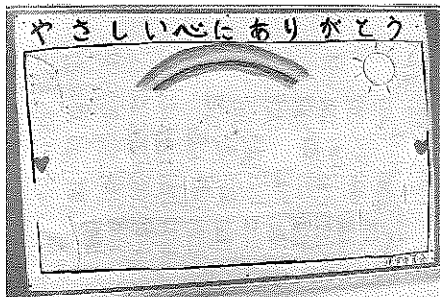
親切運動推進協力委嘱校の取組紹介 親切運動の輪が広がっています

私たちの活動
(1) 親切善行活動
(2) 福祉活動
(3) 啓発活動
(4) 貸し出し活動
(5) 拡充活動

【温かい心のふれあいを目指して】

高岡市立川原小学校

我が校は小規模校なので、子供たちみんながお互いの顔や名前を知っており仲がよい。しかし、昨今のコロナ禍で異学年での交流が減り、温かい言葉掛けや温かい行動が見えづらくなってしまった。そこで、児童会が中心になり「やさしい心にありがとう運動」を実施することにした。



自分が言ってもらったり、してもらったりしたことで心が温かくなることがあったらカードに書いて提出する。それを

児童会で1Fのみんなが通る廊下の掲示板にすべて貼って紹介し、昼食時に放送でいくつかを紹介した。同じ学年の中で親切にしてもらって嬉しかったという話が多かったが、上の学年が下の学年と一緒に遊んであげたり、作業がうまくできた時にほめてあげたりなど見えづらくなっていた川原っ子のよさがみられ、してもらった方もしてあげた方も喜んでた。川原っ子のよいところをもっと伸ばす、「温かい心に見える化」をこれからも続けていきたい。

【認め合い、思いやる心を育てるりんごの実活動】

富山市立池多小学校

池多小学校では、池多地区特産のりんごにちなんで、「池多っ子りんごの実」活動を行っています。りんごの形をした色画用紙に自分のよさを書く「いきいきりんごの実」と、友達のよさを書く「にこにこりんごの実」の2種類を、職員室前にある大きなりんごの木の掲示板に、かけていきます。



子供たちは、掲示板の前を通る度に、自分にかけられたりんごの実の内容を満足そうに読んだり、お返しに友達のよさを見つけて書いたりするなど、生活の一部としてこの活動に取り組んでいます。毎学期末に行う「りんごの実の収穫」では、うれしそうな表情をした子供たちをたくさん見ます。収穫後には、道徳ノートに自分のりんごの実を貼り、自分のよさががんばりを再認識するとともに、認めてくれる友達存在をより深く感じ、共に伸びようとする心情を高めています。このように、互いを認め合う心地よさを味わうことで、池多小学校の優しく温かい学校文化が醸成されています。今後も活動を継続し、思いやりの心を育てていきます。



【コロナ禍における親切運動の取り組み】

富山県立呉羽高等学校

本校では、コロナ禍におけるストレスを少しでも癒やせるよう、緑化運動を中心とした生徒の自主的活動を推奨している。昨年度は各階のベランダに鉢植えを設置し、今年度はアサガオによる緑のカーテンに挑戦した。さらに、使わなくなった文房具やおもちゃを少しでも貧困社会の子どもたちに役立ててもらおうと、全校生徒に呼びかけて寄付を募り、県内のNGO団体を通してシリアやフィリピンレイテ島の子どもたちに送った。ペットボトルキャップ回収では、県内のリサイクル業者に依頼しその収益を貧困地域の子どもたちの安全でよりよい教育活動の支援に充ててもらっている。



常設活動としては、他の委員会と協力し、あいさつ運動やクリーンアップ作戦を行った。コロナ禍で地域社会との連携を図ることが難しい中でも小規模ではあるが自校活動に力を入れ、奉仕の精神が立ち消えないよう積極的に取り組んでいる。

【『ありがとうの木運動』～たくさんかわそう、ありがとう。～】

氷見市立北部中学校

生徒会執行部では、「ありがとうの木」運動を実施しました。この運動には、北部中学校の全校生徒が、人に対して親切に接したり、「ありがとう」と言葉を交わすことによって互いのよさを認め合ったりできるようになってほしいという思いが込められています。

毎週金曜日の帰りの会に、一週間の自分と人との関わりを振り返り、人のために行動できたこと、人からしてもらったうれしかったことを用紙に書きました。

書いている時間、「あの時声をかけてもらってうれしかったな」「〇〇君、優しいな」などの声が聞かれ、教室は温かく和やかな雰囲気になりました。それらの用紙を階段の踊り場の掲示板に貼り、木の形にしていきました。

「ありがとうの木」が満開に咲くことで、北部中学校全体に温かい雰囲気が広がっていくことを望みます。

